



2024-25年度 国際ロータリーのテーマ

HIROSHIMA KUKO Rotary Club Weekly-Report

会長 小畠 勘次 副会長 岡田 雄幸 幹事 兼田 昌紀 SAA 松下 知美

広島空港ロータリークラブ
2024-25 2025年6月28日発行

事務局 三原市本郷南6丁目3-26 三原臨空商工会2F
TEL 0848-86-0986 FAX 0848-86-0992
E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp
例会場 広島エアポートホテル(TEL 0848-60-8111)

2710地区 上田文雄ガバナー 信条

行動しよう、未来のために。=変革に取り組もう=

本日のプログラム(6月28日)

最終例会

次回のプログラム(7月2日)

2025-26年度 クラブ運営方針

第1339回 2025年6月18日 例会記録

点 鐘 小畠会長
ロータリーソング「奉仕の理想」

出席報告

	会員数 シニア会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (6/18)	30 2	17	2	8 3	70.37
メイク	兼田・重森				

食事時間



- ・先付 グリーンピース豆腐
- ・造り 鮪のお造り
- ・揚物 ヒレカツ
サラダ
- ・御飯 白御飯 香の物一色
- ・汁物 赤出汁
- ・コーヒー

会長ひと言



皆さま、こんにちは。

本日も第1339回例会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

6月も後半に入り、年度末が少しずつ見えてまいりました。

世の中はというと、「減税は難しいから、とりあえず給付金をもう一度配りましょうか」というような議論が聞こえてきます。

まるで財布の底に残った小銭をかき集めて「これで勘弁してね」と言われているような… 思わず笑ってしまいたくなるような現実です。

ですが、皆さんもお気づきのように、本当に求められているのは「お金」ではなく「安心」と「つながり」ではないでしょうか。

これは、私たちロータリーの奉仕の在り方にもつながる話だと思います。

さて、私事ですが、この度、当社のアスパラガスをお中元用としてたくさんご注文いただきました。この場を借りて、心より感謝申し上げます。

「良い声でロータリーソングを歌おう」



講師紹介：楠部 滋会員

30年近く、私が声楽のご指導をしていただいている桑原くるみ先生をご紹介します。先生はエリザベート音大ご出身のソプラノ歌手で、広島のおペラ公演では何度も主役をつとめられた歌姫です。今もJR新白島駅近くのレッスン場で生徒を指導しておられます。カンツォーネやオペラマリアなど主にイタリア語の歌を、マンツーマンで指導してくださっています。

声楽レッスンは私にとって、一番のストレス解消です。1ヵ月に2回程度、土曜日の午後に約50分間みっちり、発声練習から2歌ほどの歌唱指導をしていただいています。レッスンが終わると、とてもスッキリした気持ちになります。まだ生徒さんを募集しておられますので、ご興味のある方は、楠部にご連絡ください。

今日は短い時間ですが、私たちがよく歌う3曲のロータリーソングをご指導いただく予定です。お腹にいっぱい息を吸ってから背すじを伸ばして、腹筋を使ってしっかり声を出してください。



講師：桑原 くるみ先生

発声練習に始まり、「四つのテスト」・「奉仕の理想」・「我等の生業」の歌唱についてご指導いただきました。

正しい発声方法でお腹から声を出すと、身体が熱くなり上着を脱ぐ人が続出!!

アスパラはただの野菜かもしれませんが、農家の汗と、土の力と、皆さまの温かい応援によって育った“想いの詰まった一本”です。

大量生産・大量消費ではなく、“顔が見える贈りもの”を選んでくださった皆さまの心遣いに、「まだまだ世の中、捨てたもんじゃないな」と嬉しくなりました。

給付金では買えない価値。

それは、思いやりであり、人と人との信頼関係であり、「この人から買いたい、この人に贈りたい」という気持ちです。

まさにそれこそが、ロータリアンとして大切にしてきた“奉仕の本質”だと私は信じています。

ロータリーは、支援の形を「お金」ではなく「行動と心」で示す組織です。

そのことを改めて実感する今日この頃です。

残すところわずかとなったこのロータリー年度、最後まで丁寧に、心を込めて、一人ひとりと向き合う活動を続けてまいりましょう。

幹事報告（岡田副会長より）



【回覧】

- ・7月の例会出欠表
- ・最終例会出欠表・バス運行表
- ※自家用車・バス 交通手段のご確認をお願いします
- ・第27回全国空港フォーラム(佐賀)参加確認表

